

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

「使用上の注意」の改訂に関するお知らせ

2023年11月-12月

HMG-CoA還元酵素阻害剤

日本薬局方 **アトルバスタチンカルシウム錠**

アトルバスタチン錠5mg「JG」

アトルバスタチン錠10mg「JG」

Atorvastatin Tablets

製造販売元
JG 日本ジェネリック株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

このたび、上記の弊社製品につきまして、「使用上の注意」の一部を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。ご使用に際しましては、改訂後の各項を十分ご参照くださいますようお願い申し上げます。

また、今後とも弊社製品のご使用に当たって、副作用等の治療上好ましくない事象をご経験の際には、弊社 MR までできるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂箇所(抜粋)

(改訂箇所：____部)

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 本剤は、主として肝の薬物代謝酵素 CYP3A4 により代謝される。また、P-糖蛋白質 (P-gp)、乳癌耐性蛋白 (BCRP)、有機アニオントランスポーター (OATP) 1B1/1B3 の基質である。[16.4 参照]			10. 相互作用 本剤は、主として肝の薬物代謝酵素 CYP3A4 により代謝される。また、P-糖蛋白質 (P-gp)、乳癌耐性蛋白 (BCRP)、有機アニオントランスポーター (OATP) 1B1/1B3 の基質である。[16.4 参照]		
10.1 併用禁忌 (併用しないこと) 〈変更なし〉			10.1 併用禁忌 (併用しないこと) 〈省略〉		
10.2 併用注意 (併用に注意すること)			10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
〈変更なし〉			〈省略〉		
レテルモビル	〈変更なし〉	〈変更なし〉	レテルモビル	〈省略〉	〈省略〉
フチバチニブ	併用により本剤の血中濃度が上昇し、副作用が発現しやすくなるおそれがある。	機序：フチバチニブによるBCRPの阻害が考えられている。	〈省略〉		
〈変更なし〉					

(2023年11月改訂)

2. 改訂内容

- 相互作用相手薬記載との整合のため「併用注意」の項へ「フチバチニブ」を追記いたしました。

3. DSU掲載

使用上の注意改訂情報は、2023年12月発行予定の「医薬品安全対策情報 (DSU) No.322」に掲載されます。

今回の使用上の注意改訂等を反映した電子化された添付文書情報につきましては、以下よりご確認ください。

- 日本ジェネリック株式会社 医療関係者向けサイト (<https://medical.nihon-generic.co.jp/>)
- 医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)
- 「添文ナビ[®]」にて個装箱等に表示のGS1バーコードを読み取る。
「添文ナビ[®]」のインストールや使用方法は日薬連のホームページをご覧ください。
(<http://www.fpmaj.gr.jp/Library/eMC/>)

お問合せ先：日本ジェネリック株式会社
安全管理部 TEL：03-6810-0502

アトルバスタチン錠5mg/10mg「JG」



(01)14987792216518

J-JG069-007